

平和と不当解雇撤回

客乗原告

松山市在住 林 恵美

3月始めラジオで「陽光桜が開花」と耳にした。愛媛の支援者の方からその聞きなれない桜のいわれを伺った。川内町の高岡正明（故人）と言う元教師が生徒を戦争に送り出した贖罪の念から、実に30年をかけて作り出した新品種。愛する生徒たちが散った極寒のシベリアでも亜熱帯のインドネシアでも長く咲き続ける少し濃いピンクの愛らしい花。「戦争はいかん」と言う、氏の強い思いが世界中で花開き、この時期この花を見た人々を笑顔にしているに違いない。ふるさとへの想いを深くした出来事である。航空も平和でなければ発展しない産業だ。原告団も、強行採決された「戦争法」に反対し撤回のために尽力したい。

2月29日18時から始まったJAL本社を包囲する行動に600名を超える支援者の方々が集まった。東京湾から吹く強く冷たい風にも負けずJAL経営陣に不当解雇の解決を迫った。3月7〜11日は本社前で座り込みを続けた。5日間で630

JAL 愛媛原告を支える会



発行：JAL不当解雇とたたかう愛媛原告を支える会
連絡先：愛媛自治労連会館3F愛媛労連内
松山市三番町8-10-2 Tel. 089-945-4526

客室乗務員正社員化 あとに続こう！

私も 応援します 2015 えひめ母親大会実行委員長 小淵あけみ

新年のビッグニュースは、当事者のみなさんはもちろん、すべての非正規で働くすべての女性に希望をもたらすものでした。

でも正直あのJALが？と信じられない思いもまだあります。なぜか。映画にまでなった悲惨な航空機事故の顛末や航空業界の実態を知り、にこやかな笑顔をふりまく乗務員の方々の厳しい労働実態などにふれるたびに、暗澹たる思いになったからです。私はよく飛行機を利用しますが、降りるときには「無事運んでくれてありがとう、お疲れ様」の気持ちをこめてできるだけ御礼を口にします。それだけ、安全に

飛行機を運行する方への信頼は「この時間や空間を共有し、いのちを預けている」そのものなのです。

それにしても、この間の度重なる不当労働行為は、世界からも嘲笑ものですが、なりふり構わずの労働者いじめそのものです。乗客の「いのちの尊厳」にも直接かかわる不当解雇問題は職員だけの問題ではなく、過去の問題でもありません。たたかいは更なる粘りが必要となるでしょう。これからは「いのちの尊厳」で連帯し、たくさんの人たちに実態を知らせ、支援の輪を広げていきましょう。

名を超える参加があった。どちらも5年間で最高の参加者。司法が解雇を容認しても問題は何ら解決していないことをJALに強くアピールし、驚異さえ与えたい！



院内集會に集合した原告3人（2月24日）

えたのではないかと思う。つい最近、千歳空港で事故が起き、この2カ月間で7件ものエンジントラブルが起きている。大事故が起きる予兆と声を大にして言いたい。あの御巢鷹山事故の直前も組合は会社に警鐘を鳴らし続けていた。破綻後、稲盛和夫氏が導入した「利益なくして安全なし」の考え方が否応なく現場に浸透し、史上最高に近い利益を上げ続けても安全の基盤は薄くなっている。稲盛イズムは公共交通機関とは相容れない経営方針である。735名の尊い犠牲を増やすことはあってはならない。一刻も早い不当解雇撤回の経営判断を迫りたい！